

自転車ラックバスのご案内

自転車ラックバス運行路線
つくバス 北部シャトル

自転車積載料金
実証実験運行期間中
無料

自転車ラック積載基準

積載可能台数	1台のみ
ホイールサイズ	16インチ以上29インチ以下
タイヤ幅	3インチ以下
重量	50キロ以下
ホイールベース	48インチ以下

ご利用の際の注意事項

- 自転車の積み降ろしはお客様ご自身で行っていただき、お客様自己の責任にて行っていただきます。作業の際、お体のケガや周辺の交通に十分ご注意ください。
- 自転車ラックに積載できる自転車は1台のみです。自転車をすでに積載中の場合にはご利用になれませんのでご了承ください。
- 自転車ラックは上記の指定された路線、時間帯に運行する自転車ラック装備車両以外はご利用になれません。自転車ラック装備車両の故障、整備、点検、遅延等により、一般車両で運行する場合がございます。その際は自転車ラックはご利用になれませんのでご了承ください。
- 自転車ラックに積載できる自転車は上記に記載された「自転車ラック積載基準」を満たす自転車に限ります。ただし、基準を満たしていても運行上安全を確保できないと判断した場合は、自転車の積載をお断りすることがございます。
- 自転車ラックに積載した自転車について、当社は滅失又は、毀損によって生じた損害を賠償する責に任じません。

自転車ラックバスのご利用方法

乗車方法

- 乗務員へ自転車を積載する旨と降車停留所をお知らせください。
- 自転車ラックの黄色いレバーを引きながら、ラックをゆっくり手前に倒してください。
- ラックのレールにタイヤを合わせ、黄色い固定用のレバーをタイヤ上部にかけて固定してください。
- 固定用レバーは右の写真のように必ずタイヤの上部にかけてください。右下の写真のように固定用レバーを横にかけると不安定になり、落下する恐れがあります。
- 自転車をしっかり固定したら、中ドアからご乗車ください。

降車方法

- 乗務員へ自転車を降ろす旨をお伝えいただき、運賃をお支払いください。
- 固定用レバーを外し、自転車をゆっくり降ろしてください。
(作業の際は、ケガや周辺の交通に十分注意し、歩道側で作業をしてください。)
- ラックの黄色いレバーを引いてゆっくりラックを戻してください。
(走行中にラックが倒れないよう、しっかり戻してください。)
- ラックを戻したら、危険ですのでバスから離れてください。

ご 注 意

自転車の積み降ろしは、お客様ご自身で行っていただきます。作業の際は、お体のケガや、周辺の交通に十分ご注意ください。